

雪と氷

写真集

横浜鎌倉の四季

のんさん





皆さんは霧氷を見たことがあるでしょうか。霧氷は空気中の水蒸気が冷却され、空気中で過飽和になり木の枝などに付着した瞬間に氷の結晶となる現象です。冬の函館大沼七飯スノーパークに近い横津岳で見事な霧氷が見えました。青空に霧氷の結晶が浮かびます。参照[函館の色図鑑](#)
[七飯スキー場横津岳周辺地図](#)



函館七飯スノーパークからは名峰駒ヶ岳が望めます。木々の霧氷もきれいです。駒ヶ岳は活発な火山活動の火山ですが、この日は穏やかです。遠くに噴火湾の海も望めます。函館大沼七飯の雪景色素晴らしいです。



函館五稜郭は美しい星型の堀をもつ城跡です。日米和親条約の締結に伴い、箱館（函館）は開港されました。開港に伴って建造されたのが、函館五稜郭です。西洋式の築城です。函館上空から見る雪景色の函館五稜郭もきれいですね。五稜郭の堀は凍っています。

[函館五稜郭周辺地図](#)

雪の中で停車する北海道の列車



北海道の冬の寒さは厳しいです。雪の函館駅にJR北海道の列車が止まっています。最近ではローカル線はワンマンカーが多くなっています。雪の日や吹雪の日も定刻に運行されます。こんな雪の日の列車は頼もしく見えます。

[函館市内地図](#)



雪の日に列車に乗り、大沼公園駅で下車してみました。夏の大沼公園は多くの観光客で賑わいますが、冬の大沼公園駅はひっそりとしています。雪の中で見ると大沼公園駅はおとぎの国のように見えました。大沼公園駅では駅員さんが除雪していました。雪の中の列車運行、除雪ご苦労様です。

[大沼公園周辺地図](#)



会津大内宿は会津西街道に残る静かな宿場町です。江戸時代には本陣も置かれ、宿場町として栄えた街です。大内宿を見下ろす高台から街並みを望むと、江戸時代にさかのぼったような気にさせてくれます。この雪の付いた藁葺き屋根の風景、大事にしたいですね。参照[会津大内宿花散歩](#)
[会津大内宿周辺地図](#)



雪の大内宿を散歩していると、藁葺き屋根の下につるし柿や凍み餅が吊り下げられています。また軒下には長い氷柱（つらら）が伸びています。このつるし柿や凍み餅は会津地方の特産品です。このつるし柿や凍み餅は現在のカップラーメンなどの製造法と同じ、フリーズドライの保存食です。氷柱ができるほどの寒さと、乾燥によってできるのですね。昔の人の知恵に驚かされます。



会津大内宿に近い会津鉄道湯野上温泉に行ってきました。会津鉄道湯野上温泉駅は藁葺きの屋根の駅舎です。会津の雪景色とにあっていますね。この日の積雪はあまり多くはありませんでしたが、豪雪地帯の会津では数m積もる日もあります。

雪の会津地方喜多方倉の街



会津地方にある喜多方の街は倉造りの街として知られています。喜多方では倉が生活の中に溶け込んでいます。これらの倉は昔大火の時に燃え残ったそうです。火災に強いことから今でも喜多方では、倉造りの家を建てる人が多いそうです。雪と喜多方の倉造りの街並み、にあっていますね。

[喜多方市周辺地図](#)

雪の中を行く会津喜多方の倉馬車



雪の降る会津喜多方を倉馬車が行きます。観光用の倉馬車ですが、この日雪のためか誰も乗っていませんでした。こんな雪の日も馬は黙々と馬車を引きます。そろそろ道路に降った雪も積もりそうです。ご苦労様です。



横浜にも数年に一度雪が積もります。横浜の冬は温暖なのでめったに雪が積もる事はありませんが、珍しいので雪の散歩も楽しいです。足がぬれると嫌がる人もいますが、横浜の雪景色もいいものです。参照[横浜冬散歩](#)



横浜赤レンガ倉庫は創業1911年で、来年100周年を迎えます。赤レンガ倉庫はショッピング、食事、イベントなどの会場として多くの観光客で賑わいます。この赤レンガ倉庫、関東地震にも耐えた丈夫な建築物です。横浜赤レンガ倉庫、雪の中でふだんより一層赤く見えました。

[赤レンガ倉庫周辺地図](#)

雪の中のノボロギク



都会の淡雪の中で、ノボロギクがけなげに咲いていました。誰でしょうかこんな可愛い花にボロギク、などと名付けた人は。確かに雪の中で見ると無残な姿で咲いていましたが、私の心を打ちました。僕がしっかり見てあげるからね、ノボロギク・・・



横浜ではナツミカンやダイダイは冬に黄色く色づきます。雪の中でナツミカンでしょうか？だいだいでしょうか？色づいていました。柑橘系の果物はビタミンや薬用成分も多く冬には貴重な栄養源です。農薬を使わなければ、皮もママレードなどに使いたいですね。風邪の予防にもなります。

雪の降る街とバス



雪の降る街を歩いていると、降りしきる雪の中をバスが走ってゆきました。都会では雪が5cmも積もると交通マヒします。今日の雪は、少し積もりそうです。そんな雪の中を、バスが走って行きます。雪の夜、バスが頼もしく見えます。



富良野スキー場はスキーやスノーボードのワールドカップ会場に何度もなった場所です。富良野は晴天率も高く、パウダースノーで知られたスキー場です。富良野スキー場からの富良野盆地や十勝岳、美瑛岳など大雪山系の眺めは見事です。冬は-30℃くらいまで気温が下がります。参照

[富良野の色図鑑](#)

[北ノ峰岳周辺地図](#)



富良野や美瑛の青空は見事です。晴れると澄んだ青空が広がります。ぬけるような青空に霧氷が白く浮かびます。この霧氷も日中気温が上がると、落ちてしまいます。霧氷の花は冬の朝の楽しみです。

富良野の吹雪



晴天の多い富良野美瑛にも吹雪の日があります。北国の吹雪は半端ではありません。横殴りの風雪が吹き付けます。前が見えないほどです。こんな吹雪の日に外に出るのは危険です。吹雪が過ぎるのを待つしかありません。

静かに降り積もる林の中の雪



静かに雪の降る林の中は静かです。林の中には、ウサギやキツネの足跡が見えます。静かに降る雪の林の中を動物の足跡をたどりながら、散歩するのも良いですね。新しい発見が必ずあります

。



寒い冬に自然が作る雪と氷の芸術は見事です。枝一本一本まで、雪や霧氷が付き同じ形のものはありません。このときは気温 -20°C 以下で顔や指先は痛いほどでしたが、こんな自然の芸術に出会えてよかったと思う瞬間です。



やはり晴れた日のスキーは最高です。林の中を滑り降りる快感はたまりません。顔に当たる冷たい空気は肌を刺しますが、凜として爽やかです。富良野の街がすぐ目の前に迫ります。



雪のニングルテラスを散歩してみました。皆さんはニングルを知っていますか？アイヌの伝説上の小人で森の妖精です。雪のニングルテラスを歩いていると、本当にニングルが出てきそうです。ニングルテラスには森の小枝などで作られたみやげ物や小物が売られています。参照[富良野雪景色](#)
[ニングルテラス周辺地図](#)



雪が真っ白に付いた郵便ポストがありました。寒い冬の雪は粉雪で郵便ポストに付くことはありません。春先の湿雪はかえて雪が付き冷たく感じるそうです。こんな雪の中を、郵便物がぬれないように集配して廻る職員さんご苦労様です。



「雪の降る街を・・・」という曲を知っていますか？旭川の街や旭川空港にはこの曲が流されています。「鶴岡市の情景」という説もありますが、旭川市の街にはこの曲がにいます。



吹雪の夜ナトリウムランプのオレンジ色の光がたのもしく見えました。普段はナトリウムランプの光は、なんだかあまり好きではありません。吹雪の夜ナトリウムランプのオレンジ色の光は力強くてのもしく見えました。

京都大原宝泉院の雪景色



真冬の京都北山や大原の里は雪になることが多いです。雪にならなくても時雨（しぐれ）たり、霰（あられ）や小雪が舞ったりすることがあります。雪の日に大原を散歩してみました。雪の中宝泉院の雪景色は水墨画のように美しく見えました。

[宝泉院周辺地図](#)

京都大原三千院阿弥陀如来坐像と雪



雪の中京都大原三千院の阿弥陀如来坐像に逢いに行きました。雪の中でも阿弥陀如来坐像は涼しげに見えました。雪の日に来て良かったと思う瞬間です。



雪の中真っ赤に咲くカンツバキはきれいです。三千院から寂光院に向かう道端に雪と氷の付いたカンツバキが咲いていました。こんな花に出あえるのも、雪の日の散歩の楽しみです。

鎌倉浄智寺の雪景色



湘南地方にある鎌倉の冬は温暖で、めったに雪が降ることはありません。北鎌倉にある鎌倉五山の一つ浄智寺の門前の反り橋がわずかに雪化粧していました。鎌倉の淡雪はすぐ消えてしましますが、冬の朝の贈り物です。

雪の中で元気に咲くキクの花



雪道を散歩していると、キクの花が元気に咲いていました。キクの花も冬元気に咲きます。雪の中で黄色い花が鮮やかです。



冬の猪苗代湖は寒いですが、深い湖のために凍ることはありません。そのため、冬には北国からカモやハクチョウなど多くの野鳥が飛来します。遠くシベリアからやってくるそうです。シベリアに比べればあったかいのですね。

猪苗代の凍る川



冬の猪苗代は高原にあるためにとっても寒いです。真冬には小川も凍ります。こんな雪と氷の中の散歩も楽しいです。このときは小川の上を歩くことができました。氷が割れて危険なこともありますので、氷の上を歩くのは小川だけにして下さい。

[猪苗代湖周辺地図](#)



会津磐梯山は宝の山です。冬の猪苗代から見るその雄姿は風格があります。1888年に大噴火を起し、現在の姿になっています。雪の磐梯山と猪苗代湖の岸辺のしぶき氷、冬の絶景です。
参照[会津の色図鑑](#)



冬の寒い時期、風が強いと降った雪が飛ばされ、地吹雪になります。猪苗代は猪苗代湖があるため、遮るものがなく、季節風が吹き抜けます。雪が飛ばされ、夕日に輝きます。美しい光景です。でも飛ばされた雪と氷は、肌を刺します。でもずっと見ていたい光景ですね。



雪の夕暮れ時、会津若松城に行って見ました。夏は多くの観光客で賑わいますが、冬の夕暮れ時歩く人はめったにありません。会津若松城はライトアップされ、白く浮かび上がります。夕闇に浮かび上がる会津若松城（鶴ヶ城）見事です。

[鶴ヶ城周辺地図](#)



冬の朝の散歩の楽しみは、霜柱です。霜柱は土に含まれる水分が凍り、できるものです。水分が結晶しながら柱のように伸びていきます。同じものは二度と見ることはできません。今日の霜柱は横に開いて、結晶したようですね。

踏まないで・・・つい踏んでしまうサクサク感



冬の朝にできる霜柱はとてもきれいです。霜柱をそっと見ていたのですが、ついたら心で踏んでみたくなります。少年時代の思い出でしょうか？あのサクサク感がたまりません。踏んで崩れる霜柱と足の裏に伝わるあの感触・・・今日もついつい、霜柱を踏んでしまいました。

霜にやられたパンジー



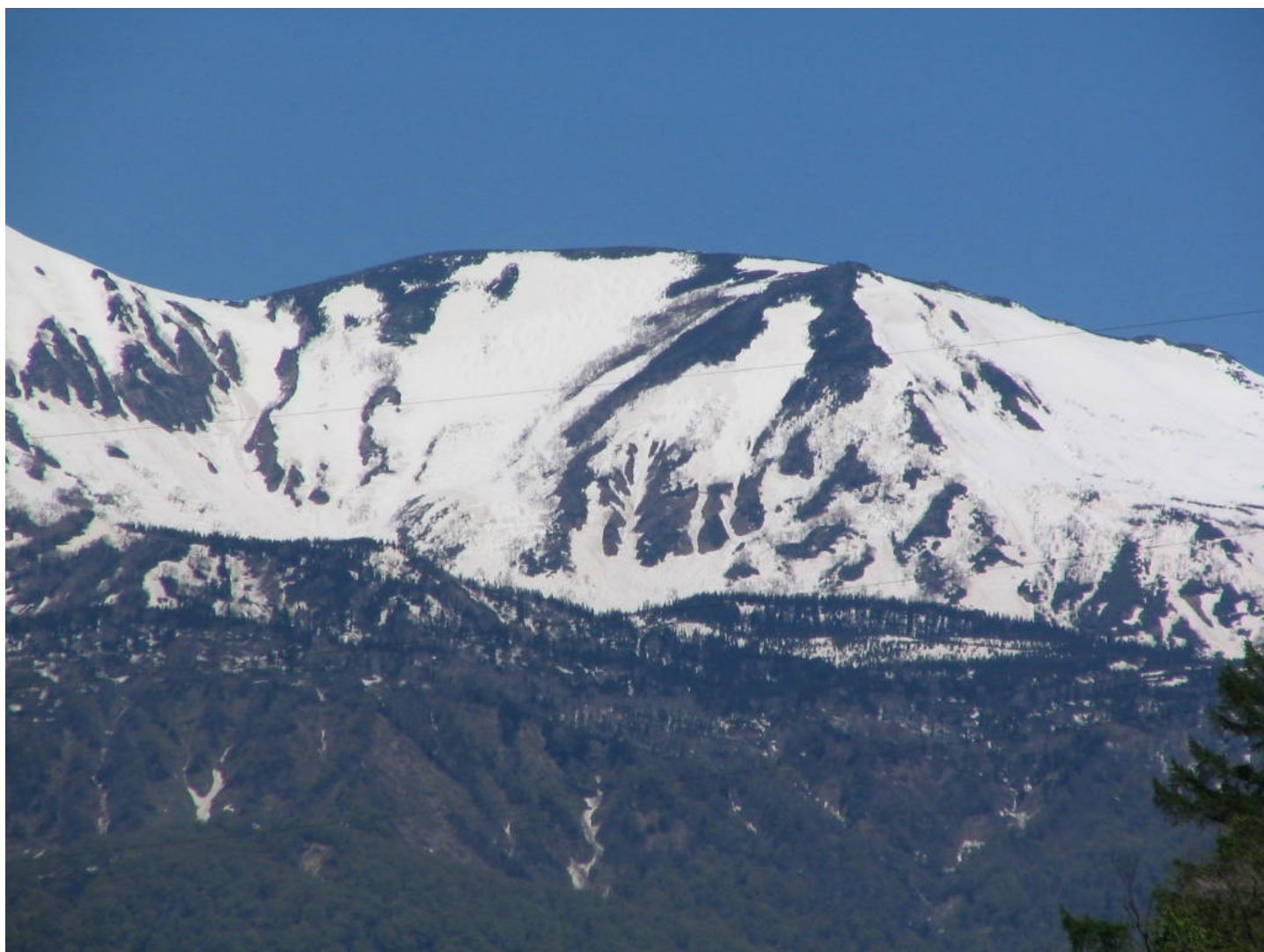
冬の朝パンジーが霜にやられていました。霜が付きよれよれです。雪の下でも比較的元気なパンジーですが、霜には弱いようです。冷気が直接ぶつかるからでしょう。でもこのパンジー屋には花を咲かせていました。植物の生命力もすごいですね。



雪の下にキャベツがありました。雪はもちろん冷たいですが、雪には空気が含まれているので断熱作用があります。雪の中でもキャベツは比較的元気です。霜にうたれるとダメージは大きいようです。雪の下から取り出したキャベツは甘くてとてもおいしいです。これはキャベツの細胞が凍ることを避けるために、糖化が進む（細胞を凍らせないための適応）ことも原因のようです。



信州にも遅い雪解けの季節がやってきました。まだ北アルプスの峰々は雪で覆われていますが、里はすっかり春です。菜の花が咲いています。この付近の菜の花は野沢菜の花です。おいしい漬物になる野沢菜が春にはこんなきれいな菜の花を咲かせるのですね。参照 [白馬塩の道を歩く](#)
[白馬神城地区周辺地図](#)



長野県白馬村では昔から農作業の目安として、北アルプス山ろくの「雪型」といわれる模様利用していました。皆さんに見えるでしょうか？種をまく人の形と、鶏の姿が・・・。年によって、降雪などで農作業日程は異なってきます。これらの模様を見て農作業をすると、ちょうど良いそうです。昔からの知恵があるのですね。

山の雪解けとミズバショウの花



山にもやっと雪解けの季節がやってきました。雪解けの山で真っ先に咲き出す花がミズバショウの花です。木々の芽はまだ開いていません。これから山々の木々も一斉に芽吹き始めます。

山々の雪と氷は川となって里へ



北アルプスの山々の雪と氷も少しずつ、融け出しました。融けた水は川となって里を潤します。さらに海に注ぎ魚たちを育てます。雪解けの水は冷たいですが、だんだんと温んでゆくことでしょう。ここからの白馬鑓ヶ岳、白馬岳、杓子岳、乗鞍岳の眺めも最高です。

[白馬町松川周辺地図](#)



夕方になり、函館大沼の名峰駒ヶ岳が赤く染まってきました。葛飾北斎が富嶽三十六景を描いていますが。そのなかの赤富士は印象的です。夕方の駒ヶ岳も赤富士のように見えました。駒ヶ岳の峰に積もる雪に夕日が照らされ、きれいです。



函館大沼の雪景色を眺めながら過ごしていると、あたりはすっかり暗くなってきました。夕方の青い夕闇と、明かりの赤が交じり合う時間はとても魅力的な時間です。雪明りをゆっくり楽しんでゆくのも良いですね。

[函館大沼周辺地図](#)

あとがき

写真集「雪と氷写真集」を最後まで見ていただき、感謝いたします。「雪と氷写真集」を満足いただけたでしょうか？もしお気に入りの写真などありましたら、各ページにあるお気に入りの登録☆（パブユーザー登録でできます）を押していただけると幸いです。ご意見、感想などもいただくと、今後の編集の参考にもなり、ありがたいです。ご意見、感想などは各ページのコメント欄に記入下さい。ありがとうございました。

よろしかったらその他の[のんさん](#)の本もご覧になってください。